

社内文書をAIに丸ごと 読ませて質問する

Gemini Notebook（旧NotebookLM）
の業務活用入門

議事録・PDF・報告書を一括アップロードしてAIに質問できるGoogleのツール。

仕組みと、中小企業での3つの実務活用パターンを図解で整理します。

この資料の要点

- Gemini Notebookは自分でアップロードした資料の中だけで回答するため、ハルシネーションが起きにくい
- 議事録の横断検索・マニュアルへの問い合わせ・競合資料の比較整理に向いている
- Googleアカウントがあれば無料で始められ、PDF・音声・スライドなど複数形式に対応

Gemini Notebookとは——旧NotebookLMから何が変わったか

Gemini Notebookは、Googleが提供するAIを使った文書分析・情報整理ツールです。2026年7月16日に「NotebookLM」から「Gemini Notebook」へ名称変更されました。「LM（言語モデル）」という略称が一般ユーザーにわかりにくいとして、Google全体のAI製品をGeminiブランドに統一する動きの一環です。名前は変わりましたが、既存のノートブック・共有リンク・アップロード資料はそのまま使えます。

通常の生成AIとどう違うのか

ChatGPTやClaudeなどは学習データ全体を参照しますが、Gemini Notebookはアップロードした資料の中だけを参照して回答します。

- 根拠の明示：回答がどの資料の何ページから来ているかをリンクで確認できる
- 文書横断検索：30本の議事録をまとめてアップロードして一括で問い合わせられる
- ハルシネーションが少ない：資料外の情報を作り出さないため、事実誤認が起きにくい

中小企業での3つの活用パターン

① 過去の議事録・会議メモを横断検索する

数ヶ月分の議事録をアップロードし、「〇〇案件のコスト削減方針についてまとめて」と問い合わせると、該当箇所を引用しながら整理してくれます。ファイルを一つひとつ開いて読む代わりに「問い合わせる」ことで検索工数を大幅削減。

② 社内マニュアル・規程・仕様書に質問する

複数のマニュアルや規程文書をアップロードして「〇〇の場合の対応手順を教えて」と聞くと、該当部分を引用して答えます。新入社員の研修補助や担当者交代時の引き継ぎにも活用できます。

③ 競合分析・市場調査レポートを比較・整理する

業界レポートや競合のプレスリリースをまとめてアップロードし、「3社の価格帯と強みの違いを表で整理して」と依頼すると、資料を横断した比較ができます。「まずAIに整理させ、気になった部分だけ原文を確認する」という流れで、リサーチ工数を大きく削減。

始め方（3ステップ）

1. 試したい文書を1〜3本選ぶ：量を絞って動作を体感する
2. ノートブックを作成してアップロード：アップロード後、AIが自動でサマリーを生成
3. 実際の業務の質問を投げてみる：普段「探して読む」作業を1つ選んで代替を試す

注意すべき点

- ・機密情報の取り扱い：社内の機密資料には、Google Workspace（法人向けプラン）を利用推奨
- ・アップロード外の情報は答えられない：汎用AIと適切に使い分けが必要
- ・資料の品質管理：重複・古い情報が混在するとノイズになるため、定期的な見直しが有効

株式会社DnDでは、AIを活用した業務効率化・社内情報の仕組みづくりをご支援しています。

「手元の資料をもっと活かしたい」「AI導入の進め方を相談したい」という場合はお気軽にご連絡ください。

<https://dnd-inc.jp/contact.html>